

## ■新会員紹介



## 学校法人 尚綱学院

学校法人尚綱学院 常務理事 瀬戸 正道

SHOKEI 学校法人尚綱学院は、この度みやぎグリーン購入ネットワーク会員として加入させて頂きました。私共は、明治25年の創立以来「建学の精神」である「キリスト教精神にもとづき、自己を深め、他者と共に生きる人間を育てる」を大切に、教育機関として128年間継承して参りました。

法人内に設置された大学、中高、幼稚園の各学校において「持続可能な社会の実現」に向けこれまで様々な取り組みを行って参ります。「建学の精神」の理念はSDGsの「誰一人取残さない」という理念に通底するところがあり、学院全体として、SDGsに積極的に取り組んで参りました。具体的には、地域社会と共に環境教育の実践、里山（尚綱の森）再生整備、在仙企業と共に「環境マルシェ」による街頭での啓発活動など地道に活動を続けております。

この度、事務局長のお話から貴ネットワークの存在と「グリーン購入」の宮城県内での活動を知りました。これを機に本学の教職員のみならず、学生・生徒・園児にいたるまで、貴ネットワークと共に活動の一翼を担って参りたいと思っております。まずは、研修会等に参加させて頂き、当法人のグリーン購入100%達成に向け 関係各所の意識を高めて参りますので、何卒、宜しくご指導方お願い申し上げます。



## 株式会社きちみ製麺

400年以上続く白石温麺は油を使用しない健康食として古くから地域に愛されてきました。ファーストフード、インスタント食品など食生活の変化により植物油の需要が高まっていること、その背景で大規模なプランテーションが自然環境までも脅かしているという現状を初めて知りました。環境に配慮した商品や資材を購入することが未来につながる。地域の企業が環境保全に役立つ企業であるためにグリーン購入について学び実践していくために入会を決意しました。

## ■みやぎのグリーン購入活動

## 仙台市×みやぎ生活協同組合



イベント



動画

仙台市では市民へのグリーン購入を普及啓発する取り組みとして、親子で楽しみながらグリーン購入について学ぶことができるイベントの開催や、グリーン購入や環境ラベルについて紹介する動画の配信を行っています。

令和元年度には、みやぎ生協(太子堂店)様にご協力いただき、グリーン購入や環境ラベルについて親子で学び、伊達武将隊と一緒にお店の中を回りながら、環境ラベルが付いた商品を探すというイベントを開催しました。イベントの詳細は下記URL参照。

また、昨年度はコロナ禍における新しい取り組みとして、動画の制作にも挑戦しました。グリーン購入ってなに？環境ラベルってどんな種類があるの？という疑問に伊達武将隊が分かりやすく説明しています。ぜひTube及び仙台市環境Webサイト「たまきさん」で公開しておりますので、皆様もぜひご覧ください。

イベント：<https://www.tamaki3.jp/blog/?p=28427>

動画：<https://youtu.be/IsYDZpCzN00>

仙台市環境Webサイト「たまきさん」：<https://www.tamaki3.jp/>



「事業所見学会」そして、新たに「ローカルSDGS（地域や企業の取り組み）」研修会及びグリーン購入100%達成に向けた講座等を実施予定です。日時・場所など詳細が決定次第、ホームページ等によりご案内申し上げますので、会員の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

## ■発行・編集 みやぎグリーン購入ネットワーク事務局

〒981-3121 仙台市泉区上谷刈三丁目10-6

TEL.022-218-5451 FAX.022-375-7797

Email：[m-green@miyagigpn.net](mailto:m-green@miyagigpn.net)ホームページ：<http://www.miyagigpn.net/>（みやぎ環境コミュニティサイト Green Style）

※Facebookもございますので、ご覧ください。



## みやぎGPNニュース

今回の  
内容

- 代表幹事の挨拶
- 事務局より
  - ・設立からこれまで
  - ・未来に繋ぐ

- 2020年度活動報告
- 2021年度活動計画
- 新会員紹介
- ご案内

20214

Vol.16

## ■GPNに関するアンケートを実施してー

代表幹事 猪股 宏（東北大学大学院工学研究科・教授）



1年前のニュースレターで、新型コロナウイルスの影響で明るい話題が少ない・・・ということを紹介しましたが、1年たっても状況はあまり変わっていません。むしろ、数字を拾えば1年前で気にしていた数値とは桁が違っている状況にありますが、我々の意識としては少しずつですが緩和されていると感じています。これは、ワクチン開始や治療法の浸透に加えて、昨年紹介した慣性化が影響しているのではと考えております。

さて、このような状況下で、みやぎGPNの会員の皆様にアンケートを実施させていただきました。その結果については、事務局から一部解析も含めて報告があると思いますので、本稿では自由記述での内容について小職なりに考えてみたことを述べさせていただきます。

グリーン購入とSDGsとの関係が議論されることが多く、GPN本部でもSDGsを前面に出した活動が多くなっているようにも思います。「グリーン」の解釈と「購入」という文言のイメージがGPNの周知への減速要因であったことから、SDGsの採択を契機としての展開かと推察しております。目指すところは共通しているので、問題はないし、良い契機になればとも思っています。みやぎGPNでも同様の展開を促進していきたいものと思っています。

新型コロナウイルスによる影響・・・についてのコメントが種々ありました。コロナを契機として、ネット購入が多くなることで、購入時の商品の環境配慮やグリーン度の評価という工程が割愛され、価格や納期のみが指標となっているという危惧・指摘がありました。確かに、大多数はそのような方向かと思われます。しかし、ネット購入でもきちんとした詳細情報を吟味・評価しているユーザーも少なくないので、その情報の一つのカテゴリーとして「環境配慮」が自然と包含されるような活動が展開できれば、GPNの趣旨がコロナ禍、あるいはポストコロナでも生かされるのではないかと考えています。その他、リモートの活用もコロナ禍で一気に進んだ現象ですが、距離・移動時間という要素の重みが減り、行事・活動の企画での自由度が広がり、そこに環境配慮の要素を入れ込む可能性が出てきたことも実感されることです。

終末時計が「100秒」となり、地球温暖化の影響が身近に認識される事象が頻発している時、個人としてはコロナ禍に振り回されるのではなく、目の前の課題を自分なりの環境判断のもとにクリアにしていけることが、SDGsに向かうシナリオではないでしょうか？

まとまりがない私見を長々と述べましたが、会員団体の皆様におかれましては、普段の活動の活性化を心がけて頂ければ幸甚でございます。

## ■みやぎGPN会員の皆様に向けて

前事務局長 山岡 講子（NPO法人環境会議所東北 特別顧問）



2004年10月6日、7日2日間にわたり「第1回グリーン購入世界会議」が仙台市国際センターで開催されました。当時の関心の高さを示すように37ヶ国から約1,000名が参加しました。同じ年に誕生したのがみやぎグリーン購入ネットワークです。

当時は、丁寧にグリーン購入の説明をしても返ってくるのは「きのうグリーン購入したよ」「どんな商品？」「ゴムの木よ」「えっ、それはグリーン購入じゃなくて観葉植物のグリーンでしょう」など17年も経った今では笑い話です。最近、巷では表現は異なりますが『エシカル』『ロハス』といった環境に配慮した商品を購入していきましょうというムードが高まっています。

「持続可能な社会」は一人ひとりの意識が変わり、強いられてではなく自らが主体的に行動していくことが重要なカギとなります。2015年国連が発表した「SDGs」の達成目標年は2030年ですが17項目の約束ごとは、すべて一人一人の意識にかかっています。今後は海藤節生事務局長にバトンタッチをし、これからの時代「SDGs」を中心とした新たなみやぎグリーン購入ネットワークの活躍をご期待いただくとともに今後ともご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

これまでの皆様のご協力とご支援に心より感謝申し上げます。山岡講子

## ■「これまで」にとらわれずに考え、行動する



事務局長 海藤 節生 (NPO法人水守の郷・七ヶ宿 理事長)

この3月東日本大震災の発生から10年という節目を迎えました。被災地のひとつ石巻市北上町十三浜に入り津波で流され生活の妨げとなっている支障木の切断、支援物資の調達、塩害を受けた被災木の伐採と現地での活用等ボランティアとして多様な支援活動を行ってきました。復旧工事に伴って変化する人々の気持ちを肌で感じ被災地と共に歩んだ年でした。迎えた新年度に看護専門学校のボランティア論の講師として教壇に立つことになったのです。被災地から作業着姿で教室に入り行う授業。私にとって日々の活動を振り返るそして、学生たちと学びあう「生」の時間となりました。持続可能な社会について考え自らNPOを立ち上げ活動を

始めてから6年目の年の、あの時の、あの行動と学びは今の礎となっております。今日、私たちを取り巻く社会は多様化し課題も多岐にわたります。「これまでではこうだった」といった経験だけで解決していくことが困難な課題が多く見られます。「これまで」に捕らわれない考え方が必要不可欠となりました。各地を襲う自然災害、追い打ちをかけるように世界で猛威を振るうCOVID19感染症といった経験したことのない未曾有の事！に対して、私たちは「これまで」という概念を捨て、しなやかに立ち直る（レジリエンス）力を身につけていかなければなりません。ボランティア論では課題を複眼的に捉え考え、最善の行動をイメージし行動出来るスキルを身に付けるために様々なテーマでワークショップを行います。他人の話に耳を傾け自分の考えを話していく中で学生たちは課題を自分事として解決の糸口を見つけ人としても成長していきます。

持続可能な未来に寄与することを目的とする法人を立ち上げ代表としての16年。環境と経済の両立からさらなる社会的課題解決を目標として採択されたSDGs。社会には様々な立ち位置が存在しその中で私たちは営みを続けています。その立ち位置は会社や家庭の中で常に変化します。昨年事務局長を拝命し、コロナ禍という事情もあり会員の皆様との交流は思うように叶いませんでしたが、みやぎグリーン購入ネットワークの「これまで」を尊重し新しい試みを取り入れながら新年度を迎えたいと思っております。2021年の幕開けにNPO法人環境会議所東北のホームページに掲げられた「ひとりひとりの気づきと行動が持続可能な社会を創る」という明確なポリシーと共に、持続可能な調達という立ち位置でグリーン購入の普及・啓発に努め「だれ一人取り残さない社会」実現にむけ精一杯頑張っております。会員の皆様、2021年度も引き続き「みやぎグリーン購入100宣言」達成に向け一緒に行動して参りましょう。どうぞよろしく申し上げます。

## ■ 情報発信 2020年～

### えしかるちゃんと一緒に考えよう！ブログ開設

大量生産・大量消費・大量廃棄型の経済社会システムは、豊かで便利な生活をもたらしました。その反面、地球に大きな負担をかけています。環境負荷ができるだけ小さく、社会面に配慮したサービスや商品を、利用活用する方法を、みんなで考えていくためのブログです。みやぎグリーン購入ネットワーク公認キャラクター「エシカルちゃん」と「ホシカルくん」が登場しSDGsにつながる課題について解りやすく解説してくれています。



こんにちは！エシカルです。  
身近なエコやエシカルな考え方や生き方などを、私“エシカル”を通してみんなと一緒に考えていけたらと、思っています。  
のんびり屋さんと言われていまーす。

僕の名前はホシカル！  
ちょっといいことは、ちょっと面倒で手間や時間、コストのかかることだったりします。でも・・・  
人の欲が世の中を良くしてきたんだし～  
口ぐせは「ちょっと面倒…」



facebook

環境の事、社会的ジレンマなど身近な気づきについて事務局長が毎週更新中です！

## ■ 事業所見学会（オンライン）

日時：令和2年11月11日（水）9:30～12:00  
主催：みやぎグリーン購入ネットワーク  
共催：宮城県  
参加者：4名  
見学先：鎌田醤油株式会社、美里町役場、  
社会福祉法人みんなの輪「わ・は・わ美里」（美里町）



見学会の詳細は下記URLまたはQRコードよりご覧ください。  
[https://www.miyagigpn.net/pdf/kengaku\\_20201111.pdf](https://www.miyagigpn.net/pdf/kengaku_20201111.pdf)

## ■ みやぎSDGs研修会（対面・オンライン併用）

「エシカルという視点から～みやぎのアクションを日本へ！」

日時：令和2年12月8日（火）10:00～12:00  
場所：栗原合同庁舎  
参加者：会場6名、オンライン9名

1. 講演 グリーン購入ネットワーク「グリーン購入for SDGsアジェンダ2030」（東京よりオンライン）  
（グリーン購入ネットワーク事務局長 深津 学治 氏）

SDGsに取り組むことが様々な課題を解決すること、“調達”が課題を解決するために有効な手段であることが具体例とともに紹介されました。

2. 事例報告 宮城県北エリア

①東松島市 「SDGs未来都市」の取組について  
（東松島市地方創生・SDGs推進室 内海 直樹 氏）

東日本大震災からの復興と持続可能な社会形成について町全体の多様な取組みが紹介されました。

②大崎市 「世界農業遺産からつなぐSDGs」  
（大崎市産業経済部世界農業遺産推進課 課長 高橋 直樹）

農ある暮らしの水利用が評価され登録されたという世界農業遺産についてお話しの後、いぐねを景観として整備し副産物を利用していくこと、民泊を教育と結び付けた関係人口づくりインターネットの活用など多様な広がりを見せる活動が紹介されました。

3. 「みちのくEMS（環境認証）認証を受けることの意味について」

みちのくEMSについて、取得段階、継続段階でのメリット、その効果として事業拡大、収益アップ更にはSDGs達成が示されました。



日時：令和2年12月18日（金）10:00～12:00  
場所：大河原合同庁舎

参加者：会場4名、オンライン5名

1. 講演 グリーン購入ネットワーク「グリーン購入for SDGsアジェンダ2030」  
（東京よりオンライン）

（グリーン購入ネットワーク事務局長 深津 学治 氏）

2. 事例報告 宮城県南エリア

①宮城ワーケーション協議会 「ワーケーションとは？宮城ワーケーション推進のヒント」  
（宮城ワーケーション協議会 共同代表 斉藤 良太 氏）

宮城県内で各自治体と共にワーケーションに取り組む協議会からワーケーションについて、更に広がりについて詳しい説明がありました。

②七ヶ宿町 「森林を活かした持続可能な地域づくり」  
（七ヶ宿町農林建設課 課長 東根 一 氏）

森林率92%の山村七ヶ宿町が取り組む新たな森林資源活用による多様な取組みが紹介されました。

3. NPO法人環境会議所東北「「みちのくEMS（環境認証）認証を受けることの意味について」

SDGs研修会の詳細は下記URLまたはQRコードよりご覧ください。  
[https://www.miyagigpn.net/pdf/SDGs\\_202012.pdf](https://www.miyagigpn.net/pdf/SDGs_202012.pdf)



SDGs 出前講座をご希望の方は、みやぎグリーン購入ネットワーク事務局までご連絡ください。講義だけではなく、グループワークを通じて、SDGsと企業活動を結びつけることで、今後の活動にもつながります。時間、費用などお気軽にご相談ください。